

整理番号 2023M-165

補助事業名 2023年度 ファインセラミックスに関する国際標準化推進 補助事業

補助事業者名 一般社団法人日本ファインセラミックス協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

国際規格制定の初期段階から日本の意見を反映させ日本に有利な国際規格の策定を主導するため、および生の情報を収集し国内関係者へ展開するため、国際幹事国として ISO/TC206・ISO/TC150/SC7、国内審議団体としてTC150の国際会議へ専門家委員を派遣すること、及び目的の確実な実現のため、戦略立案・規格開発の進め方の検討・規格内容精査等を実施し派遣者の意思統一を図る幹事国業務委員会、国内委員会を開催すること、また最新技術動向調査、関係者との情報交換・調整のため専門家を海外へ派遣することを目的とする。同時に国際標準化活動に関する啓蒙活動を実施する。

(2) 実施内容 <https://www.jfca-net.or.jp/pdf/hojojigyou.pdf>

①中国国際標準化（ISO/TC206）機関訪問

2023年7月11日（火）～7月14日（金）、ISO/TC206（ファインセラミックス）中国審議団体との連携強化を目的として、北京市と山東省淄博（Zibo）市を訪問した。訪問機関は、中国のISO加盟機関である北京市SAC（Standardization Administration of the People's Republic of China：国家標準化管理委員会）、CTC（China Building Material Test & Certification Group Co., Ltd：中国建築材料試験認証集団）、山東省淄博市SICRD（Shandong Industrial Ceramic Research & Design Institute：山東工業窯業研究設計有限公司）である。特にSICRDはSAC/TC194として、SACのもとISO/TC206国内審議団体（JFCAに相当）の活動を担っている。出張を通じ、中国におけるISO/TC206（ファインセラミックス）の活動体制を理解し、中国の標準化業務に関わるキーパーソンとの連携ネットワークの構築に繋がる有意義な意見交換ができた。



山東工業窯業研究設計有限公司入口デジタルシグネチャ

②ISO/TC206 第30回総会 in 京都の主催

2023年10/4(水)～6(金)、京都平安神宮会館にて第30回ISO/TC206総会と、それに伴う各WG会議が開催された。JFCAは幹事国として総会主催者を務め、WG会議はハイブリッド、総会は対面のみで開催し、8か国から約100名の参加を得た。ISO/TC206は1992年日本提案のもと新設され、以後日本が幹事国に就いており、第1回(東京)・第10回(名古屋)・第20回(東京)、そして今回の第30回(京都)と、節目となる各総会を日本で開催している。会場となった平安神宮会館からの風情溢れる景観、歴史に彩られた京都の街並みは、多くの参加者の感動と称賛を誘った。

今回中国からの参加は13名。2025年総会は北京開催で決まった。総会主催に対し、中国は他TCでも積極的に手を挙げている。また、新しいTCやSC、WG設立提案を行い、幹事やコンビナーナという要職を確保するという中国の戦略が顕著になっている。国際標準は誰かが作るものではなく、我々が作り上げていくものだという認識が、これまで以上に各企業に求められている。



会場となった平安神宮会館

③標準化講演会

ファインセラミックスは、2022年度には国内生産高4兆円に迫る勢いを見せ、グローバル成長率は今後も6-7%を維持すると見込まれている。日本の重要な成長産業であり、情報エレクトロニクス、自動車、環境、エネルギー、医療福祉、航空宇宙等、様々な分野での技術革新に不可欠な材料、それがファインセラミックスである。

日本ファインセラミックス協会（JFCA）は、国際標準ISO/TC206（ファインセラミックス）及びISO/TC150（外科用インプラント）の国内審議団体として、またISO/TC206及びISO/TC150/SC7（再生医療機器）の国際幹事国事務局として活動を行っており、これまでに発行された規格はTC206で155件、TC150で175件に達した。

カーボンニュートラルやデジタル化、SDGsなど、社会ニーズや産業構造の急速な変化に伴い、国際標準の在り方も変化している。欧州、米国、中国、韓国はそれぞれの強みを生かした戦略的な行動を起こしており、日本の産業界における国際標準化戦略がより強く問われる時代となってきた。

とはいえ頭でわかっているだけでも何をすれば良いか分からないというのが本音ではないだろうか。そこで自分事として国際標準を考えるべく、政府、大学、企業という異なるスタンスから国際標準化の専門家をお招きし、ご講演いただいた。



経済産業省国際連携担当調整官による講演

2 予想される事業実施効果

ISO/TC206については、ファインセラミックス関連の特性試験方法や評価方法等の規格を策定する事によって、品質を明確に識別できる・粗悪品を市場から排除できる等の成果が期待でき、広範囲の分野で製品の性能向上や普及拡大に貢献できる。

また、国際標準化とは何か、どのように進めるのかという基本的なところから、各企業事業における戦略的活用までを学べる機会を創出することによって、会員企業及び関係機関による具体的なアクションを促すことが期待できる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

該当なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 日本ファインセラミックス協会
(ニホンファインセラミックスキョウカイ)

住所： 〒105-0011
東京都港区芝公園一丁目2番6号

代表者： 会長 山口 悟郎 (ヤマグチ ゴロウ)

担当者名： 国際担当部長 小柳 恵子 (コヤナギ ケイコ)

電話番号： 03-3431-8271

F A X： 03-3431-8284

E-mail： koyanagi@jfca-net.or.jp

U R L： <https://www.jfca-net.or.jp/>